

森中村長への

## 要望署名追加で490名分提出

第一次と合わせて1,468名に

馬尻山のメガソーラー設置に反対する運動の一環として取り組んできた、森中村長に対する要望署名を2月3日、第2次分として490名分を政辺副村長に手渡しました(村長不在のため)。向井、藤森が参加し、ソーラー業者の動きを聞くと共に、今後の取り組みなどについて懇談しました。

政辺副村長は、1月8日開いた役場の説明会で村長が話した「村民の声を重く受け止めている」という発言が全てであり、「現在はソーラー業者の動きもない」とのことでした。



### 村長への要望署名 全人口の約4割に

昨年から取り組んできた森中村長への要望署名は、合計で1468名分になり、山添村の全人口3500人の約4割に当たります。村外の方にも署名をしていただいています。住民の意識の高さが表れる署名者数となりました。

春日・大西簡易水道組合が

## 村長に要望書提出

2月21日、春日・大西簡易水道組合は森中村長に、馬尻山へのメガソーラー計画について「山添村水道水源保護条例に伴う水源保護審議会の設置と水源保護地域の指定」を要望する要望書を提出されました。

大規模な太陽光発電所の設置により、その直下にある春日・大西簡易水道は、春日・大西区の住民だけでなく、小学校、中学校、高等学校や給食センター、また役場など広く住民が使う飲料水であり、水質、水量への悪影響が最も心配されています。その当事者である簡易水道組合が要望書を提出されたことは、今後の運動に大きな励ましとなります。

早急に「山添村水道水源保護条例」に基づく水源保護審議会の設置と水源保護地域の指定を進めるよう、求めていきたいと思います。